

「炭素循環および温室効果ガス観測ワークショップ」開催のお知らせ

2005年11月10日（木）～11日（金）東京・池袋

(2005.9.27版)

開催趣旨

地球観測の国際的な連携を目的とした国際実行計画であるGEOSS (Global Earth Observation System of Systems; 複数システムから構成される全球地球観測システム)の「10年実施計画」(地球観測サミットで承認)や、総合科学技術会議による「地球観測の推進戦略」の決定などもあり、国内・国際の地球環境観測の活動連携が強化されようとしています。

2001年から議論されてきたIGOS (Integrated Global Observing Strategy; 統合地球観測戦略)の炭素循環テーマ (IGCO: Integrated Global Carbon Observation Theme)の実施計画書が2003年にまとめられ、2004年2月には東京でIGOS国際ワークショップが、最近ではイタリアでCarbon from Spaceなどのワークショップが開催されています。しかしながら、これらの活動は未だ多くの研究者の間に認識されておらず、国際的観測の連携や分担はもとより、国内的にもまとまりに欠けているのが現状です。

総合科学技術会議の「地球観測の推進戦略」を実施するため、去る6月9日に科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会地球観測推進部会が開催されました。「戦略」にも明記されているところですが、府省間の連携を可能な限り進め、分野ごとに予算案も含め協議・調整する場として、分野別に「連携拠点」を作る方向にあります。

振り返って見ますと、地球温暖化課題の炭素循環分野では、2001年に地球科学技術フォーラムの活動としてワークショップを開催し、「炭素循環の解明と予測に関する研究の現状と展望 - ナショナルプランの策定に向けて - 」という小冊子をまとめた経緯があります。その後、文部科学省や環境省の競争的資金で幾つかの炭素循環研究プロジェクトが実施され現在に至っています。

この流れを継承した活動を強化することが、現在の情勢に照らして重要と考えます。そこで、炭素循環や温室効果ガス観測分野の「府省間の連携を可能な限り進め、分野ごとに予算案も含め協議・調整する」基礎となる、科学的な議論を行う場として以下のとおりワークショップを開催いたします。

総合科学技術会議地球温暖化研究イニシャティブ (気候変動分野) 座長 小池勲夫
(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 / 東京大学海洋研究所)
IGOS国内委員会 炭素循環テーマリーダー 井上 元
(国立環境研究所地球環境研究センター)

開催概要

名称 炭素循環および温室効果ガス観測ワークショップ

目的 地球温暖化に関わる炭素循環 (その他の温室効果ガスを含む) の解明と予測に向けた観測・研究に関する科学的議論を行う。

日程 2005年11月10日 (木) 9時～11日 (金) 17時

会場 メトロポリタンプラザ会議室 (メトロポリタンプラザビル・オフィスタワー12階 東京都豊島区西池袋1-11-1 池袋駅下車すぐ TEL:03-5954-1030 <http://metopoli.com/>)

主催 「炭素循環および温室効果ガス観測ワークショップ」組織委員会

委員長

井上 元 国立環境研究所地球環境研究センター

委員 (五十音順)

栗屋善雄 森林総合研究所

五十嵐保 宇宙航空研究開発機構地球観測利用推進センター
石井雅男 気象研究所
及川武久 筑波大学生命環境科学研究科 / 地球環境フロンティア研究センター
太田誠一 京都大学大学院農学研究科
大谷義一 森林総合研究所
木田秀次 京都大学大学院理学研究科
三枝信子 産業技術総合研究所
沢田治雄 森林総合研究所
堤 之智 気象庁地球環境・海洋部
遠嶋康徳 国立環境研究所
中澤高清 東北大学大気海洋変動観測研究センター
野尻幸宏 国立環境研究所
本多嘉明 千葉大学環境リモートセンシング研究センター
馬淵和雄 気象研究所
安岡善文 東京大学生産技術研究所
山形与志樹 国立環境研究所地球環境研究センター
吉川久幸 北海道大学大学院環境科学院

総合科学技術会議地球温暖化研究イニシャティブ（気候変動分野）

IGOS国内委員会炭素循環テーマグループ

共催 独立行政法人国立環境研究所

内容

大気・海洋・陸域生態系の3分野における観測を中心とした研究の現状等について、組織委員会から推薦された約30名の招待講演者による講演とそれに基づく議論を行います。

また、あわせて一般からの応募による書面発表も実施します。

なお、プログラムは国立環境研究所地球環境研究センターウェブサイトで公開します。

参加申し込み

ご参加希望の方は必ず事前にお申し込みください。別紙の「参加申込書」を10月31日(月)までに事務局宛にメール(またはFAX、郵送)でご送付ください。会場の定員の関係で参加をお断りさせていただく場合もありえますので、あらかじめご了承ください。先着順に承りますのでお早めのお申し込みをお願い申し上げます。

登録料 参加費 1,000円(資料代)

懇親会費 5,000円(10日18時からワークショップ会場にて開催します)

当日会場にて現金でお支払いください。

書面発表

より多くの方々に発表の機会を持っていただくため、書面発表を行います。詳細は別紙「書面発表へのお誘い」をご参照ください。原稿締め切りは10月14日(金)です。

講演要旨集

招待講演者の講演要旨と書面発表を掲載した講演予稿集を作成します。

また、ワークショップ終了後、再編集の上「国立環境研究所地球環境研究センターCGERレポート」の1冊として刊行予定です。

事務局 独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター(担当 山本・森)

〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2

TEL 029-850-2384, 2349 FAX 029-858-2645

co2ws05@nies.go.jp

<http://www-cger.nies.go.jp/index-j.html>

Word形式の参加申込書ファイルを国立環境研究所地球環境研究センターウェブサイト

(<http://www-cger.nies.go.jp/index-j.html>) に用意しておりますのでよろしければご利用ください。

「炭素循環および温室効果ガス観測ワークショップ」(2005年11月10日(木)～11(金))参加申込書	
お名前	
ご所属	
所在地	
電話	
FAX	
E-mail	
参加予定時間	全日程 / 11月10日 午前 午後 / 11月11日 午前 午後 / 未定
書面発表(10月14日(金)提出締切)	する しない
書面発表予定題目	
懇親会(11月10日(木)18時から ワークショップ会場にて開催)	出席 欠席
その他連絡事項	

申込締切：10月31日(月)

連絡先等個人情報は本ワークショップにかかる連絡にのみに使用いたします。

「書面発表」については別紙「炭素循環および温室効果ガス観測ワークショップ」書面発表へのお誘い」をご参照ください。

連絡先：「炭素循環および温室効果ガス観測ワークショップ」事務局

独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター内 (担当 山本・森)

〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2

TEL 029-850-2384, 2349 FAX 029-858-2645

co2ws05@nies.go.jp

<http://www-cger.nies.go.jp/index-j.html>